

<読者投稿>

Mさんの記事を読んで

(2009年6月4日)

本紙5月号記事でお伝えした『最後のサンカ』の孤独死と、預金を勝手に引き出す東松山市職員！。「最後のサンカ」であったMさんに対し、東松山市が「殺人的」ともいえる扱いをしたあげく、Mさんの預金を勝手に引き出し、彼女の死後は市が勝手に遺産分配していた事件を報じた。

この記事をお読みになった「東松山の一市民」様からご投稿を戴いた。以下にご紹介する。(改行のみ本紙。原文まま)

Mさんの記事を読んで

始めまして。私は東松山市在住の一市民です。いつもインターネット行政調査新聞を拝見させて頂いています。

最近、何かと東松山市の醜態がさらされていますが、今回も「またか」といったところです。官製談合、リーマンブラザーズ、配食サービスと話題が尽きない我が東松山市ですが、今は「坂本市長は何をやっているんだ。」と叫びたいです。

今回の記事のサンカと呼ばれるMさんの話には、痛く切ない気持ちにさせられました。一人寂しくコタツにもぐって寝ていたのでしょうか。信頼できる人も少なく、役所の人間を半強制的に信用させられていたのではないのでしょうか。このようなことを考えさせられました。

また、東松山市が法的手続きもふまずに市民の通帳を管理し、財産分与まで行うという、まるで弁護士気取りの職員の行動は、正気の沙汰ではありません。このようなことを落ち度無く手続きをして、間違いなく行うことが行政でなければなりません。

東松山市は、「日本一の福祉都市」を目指しているのではなかったのか。福祉を掲げているにも関わらず、障害を持つ老人へのこの仕打ちは、ほんとに東松山市民として情けない、というより開いた口が塞がりません。

東松山市には、根本的な改革が必要です。やらなければなりません。今、市長のリコール運動も起きています。これ以上、坂本市長に東松山市を壊されたくはありません。これを機に東松山市は大改革を行うべきです。市政を私物化する市長や何もやらない、やる気のない反市民的議員を一掃するべきだと私は思います。

最後になりますが、孤独な身となった老人を近所の人や市が手を差し伸べているところまでは美談でしたが、このように終わらせない東松山坂本市政に怒りがこみ上げてくるのを抑えることができません。Mさんの御冥福を御祈りしたいと思います。

東松山の一市民より